

インタビュー

設立から5年 存在意義が高まる

NPO 法人アジア・アパレルものづくりネットワーク

●はじめに

内閣府認証特定非営利活動法人（NPO 法人）アジア・アパレルものづくりネットワーク（略称 AAP）は、平成 23 年の設立から 5 年が経過。会員数は増え続け、現在は 59 社（本会員 35、協力会員 12、特別協賛会員 12 の計 59 社）までに成長した。成長を続けてこられたのは、繊維業界の AAP に対する期待が膨らんでいることと表れであり、その存在意義も高まっているといえる。

今回は、AAP 設立の中心人物である小島正憲代表理事をはじめ、常川雅通副代表理事、和田博理事兼事務局長、古田真也計画委員会委員長にお話を伺った。

＜小島正憲代表理事にインタビュー＞



AAP の設立に至った経緯をお聞かせください。東海地区の縫製業者の多くは、中国進出のときに、株式会社サンテイの常川公男会長にすべてを教えていただいたおかげで、うまく工場を始める

ことができました。当時、常川会長は縫製業者を集め、いろいろな会合を開き、数多くのアドバイスをされました。ときには耳の痛い言葉もありましたが、今から考えると、それが成功のコツだったことがよくわかります。なお、それらの会合のいくつかは、今でも続いています。

あれから 20 年余、その中国も人件費の高騰などで、縫製工場の経営はなかなか難しくなってきました。そこで中国進出成功組の縫製業者の多くは、東南・南西アジアに向けて転進しようと考えました。しかし情報も少なく、かつての常川会長のような先達もいないため、どこに転進したらよいかわからない状態に陥りました。

そこで、縫製業者が寄り集まり、とにかく各国のナマの情報を集め、ワイワイと話し合うことが必要だと思い立ち、AAP の結成を呼びかけたのです。かつて常川会長から教えられたことを、みんなで思い出し、噛みしめながら進んでいきたいと思ったのです。

AAP に参加することのメリットをお聞かせください。また、AAP の会員の方々や、AAP 加入を検討している経営者の方々にメッセージを頂ければと思います。

AAP 設立後、やがて 5 年とそろそろとしています。この間に会員数はどんどん増え、現時点で会員企業が活躍している国は、ベトナム・ラオス・カンボジア・インドネシア・ミャンマー・バングラデ

シュ、フィリピンなどに及んでいます。おそらく日本では、民間でこれだけの国々に会員を持っている組織はないと思います。これらの国々の会員企業が 2 ヶ月に一度東京に集まり、現地のナマの最新情報を交換しています。ここでは成功談も失敗談もあり、楽しくかつ参考になる貴重な意見がたくさん出ます。これが AAP の最大のメリットです。こんな組織は他に見当たらないでしょう。

また会員企業が積極的に学び合うために、お互いの工場見学を頻繁に行っています。最近では工場現場を公開しない企業が増えており、他社の工場現場を見学することは、なかなか難しくなっていますので、これも AAP の大きなメリットになっています。

さらに東南・南西アジア諸国は、中国とは違い、それぞれに環境や条件がまったく違います。しかも各国の政治・経済・労働情勢・自然災害などが瞬時に激変します。たとえその国で成功していたとしても、短期間で縮小・閉鎖に追い込まれる危険性があります。したがって東南・南西アジアでの工場展開は、一つの国だけでは安定操業というわけにはいきません。中小企業といえども多国籍化が必要です。その点、AAP は組織として、すでに多国籍化を完了していますので、それぞれの国での大激動に、会員企業間の助け合いで対抗することができます。今後は、これが大きなメリットになると思います。

＜常川雅通副代表理事にインタビュー＞



会員数が増えつつあり、それは AAP に対する期待の膨らみや、存在意義が高まってきている表れだと思います。

AAP は繊維業界の中で大変注目されていると思います。ASEAN に進出したからといって、そうそう簡単には成功を収められない事情がその表れだと思います。よって今後も AAP の存在や特に情報は注目されると思います。

今後、AAP を発展させていくにあたり、どのようなことを考えてみえますか。

個人的な意見ですが、この会自体の発展というより会員各社の発展の為を考えた仕掛けは色々行っています。情報交換会、もの作りや人作りの勉強会、新しい生産拠点の探求、海外マーケットへの挑戦、そして総合展示会などは今後も取り組むべく事業だと思っています。

縫製業界は現在、生産コストの高まりや受注単価の低下などで、なかなか利益の出る体質を作るのは難しい状況です。生き残るためのキーポイントは何でしょうか。

単純にモノを作るだけの工場であれば、生産性の高い大量生産工場を目指すしか生き残りはできないと思います。それはファストファッション向けなど大型店で世界戦略を掲げ出店を続けるようなリーダーと太いパイプを持ち、何処にも負けない品質とコストパフォーマンスを提供し続けるしかないと思います。現にそのような工場は世界に多くありますが、半世紀も同じスタイルを貫いて運営をし続けている工場は見た事も聞いた事ありません。特に労働集約産業である大型縫製工場は時代の流れ、環境の変化に敏感に反応せざるを得ず、同じ場所で同じことをやっている生き残る事は難しいと思います。であれば、どのように生き残ってゆくか、その方法はさまざまですが、縫製業であっても末端消費者の消費者動向や市場在庫や色んな情報を理解した上でのモノ作りプラスαを提供できる存在になる必要があると思いま

す。

一方、重衣料的または趣味嗜好的な商品は総知的レベルの高い企業に集中すると思います。日本製であっても海外製であっても総知的レベルが問題です。原産国の違いは特恵関税やTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）やFTA（自由貿易協定）などの優遇措置に若干左右されますが、重要な問題ではないと思います。

CHANELの工場はCHANELのスーツも作るがCHANELのスカートも作ります。テイストが分かる工場、すなわち総知的レベルの高い工場で作られるモノは、それを分かってくれる販売先と顧客で成り立つと思います。そうあって欲しいという希望もあります。

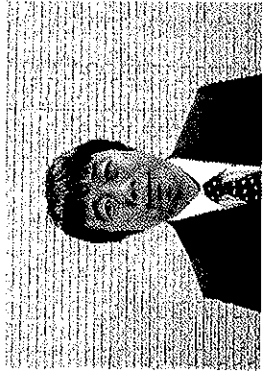
若手の集まりである「計画委員会」に期待することとは何ですか？

飽くなき挑戦と、生涯つきあえる友人を見つけて欲しいです。

AAPの今後の役割、使命、将来像について、どのように考えますか？

AAPは会員の運命共同体ではありませんし、企業努力と時々の判断がそれぞれの会社の繁栄や運命を決めます。その際に、AAPはより早く正確でより具体性の高い生の情報を会員に提供する事が最大の役割であると考えます。また、1社ではできない事やインパクトに乏しい事も、AAPで行う事でそれが実現できると思います。

<古田真也計画委員会委員長にインタビュー>



平成27年4月28日に開催された第24回例会において、「若手メンバーによる運営を行うため、斬新なアイデアによりマンネリ化を防ぎ、活性化していく」ことを目的に、AAPの若手メンバーによる『計画委員会』が立ち上がりました。

正直な所、若輩者の私がこのような重責を負う事について不安がいっぱいですが、就任したからにはAAP会員の皆様にご満足いただけるように精一杯頑張らせていただきます。

「斬新なアイデア」を出すことや、「マンネリ化を防ぐ」ためにしていくことは、

私自身がこの業界に身を置いて非常に深いものですが、諸先輩方が常識と知っているような事を何も知りません。逆にそうであるため、色々な視点で意見を出す事ができているのかもしれない。また、AAPはそういった若輩者の意見であってもしっかりと聞き入れてくださる場となっています。これと聞いて何かをしているということはあまり思い浮かばないのですが、どんな些細なことであっても意見を言うというところが大事だと考えています。

AAPの今後の役割、使命、将来像について、どのように考えられますか？

今までは、「アジア・ASEAN」へ進出するにはどうするか？」というのが、AAPの主たるテーマであったように感じています。しかし、現在はその当地にての事業運営について、どのようにしていくのが良いのかということが、テーマになってきていると感じています。

AAPの今後の役割としては、当地へ進出してからの次のステップについてのノウハウを今まで以上に共有できるように努力したいと思います。

今後の活動予定についてはいかがですか。

AAPによる情報交換だけでなくとまらずJETRO様やHIDA様のジョイントによる催しを計画しています。詳細は事務局より逐次発表があります。

すので、よろしくお願いたします。

<和田博理事・事務局長にインタビュー>



AAPの会員様について教えてください。会員はどのような業種の方が多いですか。例会には常時何社ほど参加されていますか。

会員種別は3種あります。正会員は縫製、OEM・ODMメーカーなどのアパレル製品のものづくりに関わる企業を中心に、NPO法人の事業を推進します。現在35社が参加しています。協力会員はアパレル資材、国際物流などもの

2015年度に実施および予定の例会等

2015年4月	第24回例会：特定非営利活動法人として通常総会を開催し、事業報告、活動報告とともに新年度の事業計画、活動計画を決めています。2年毎に役員の改選を行っています。その後セミナーを行い、アパレル業界交流会として会食しながら、会員企業の近況報告を行いました。
6月	第25回例会：アパレル業界交流会
8月	第26回例会：海外人材育成協会（HIDA）と共催して、セミナーを開催し、多数の会員企業の参加をいただきました。
10月	第27回例会：日本貿易振興機構（JETRO）《中小企業海外投資促進ミッション派遣協力事業》の採択を受け、ベトナム・南部を視察しました。
12月	第28回例会：アパレル業界交流会
2016年2月	第29回例会：HIDA主催の海外縫製企業とのマッチング事業に協力し、併せて海外企業を含めてアパレル業界交流会を開催します。

づくりを支える企業が中心です。現在は12社が参加しています。

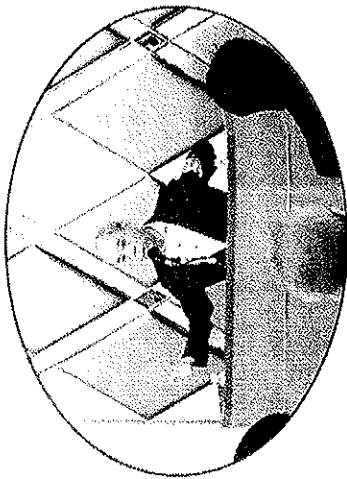
特別協賛会員は、AAPの事業に賛同いただきアパレル関連業の中で上場企業、アパレル、比較的規模の大きい繊維関連企業、海外事業には重要な海外保険関係企業などで、現在12社が参加しています。

例会への出席は、最近が増えています。8月例会の出席は会員企業39社で44人でしたが、平均して会員企業数30社、40数人の参加となっています。

現在、どのような活動をなされているのでしょうか。

例会は年6回、東京で開催しています。JETRO（日本貿易振興機構）やHIDA（海外人材育成協会）との共催もあります。2015年度に実施した例会等や今後の予定は以下の通りです。また、AAPが設立されたから実施した「海外視察」と「アジアへの進出を支援する事業」をまとめましたのでご覧ください。

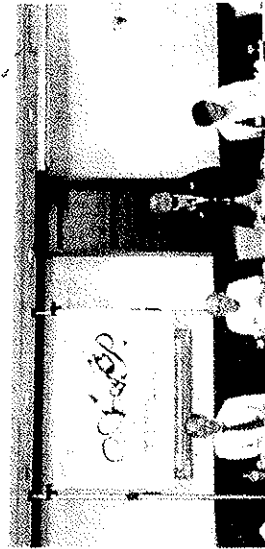
第26回例会(平成27年8月)の様子



小島正憲代表理事の講演



講演を熱心に聴く会員



例会後の懇親会・情報交換会

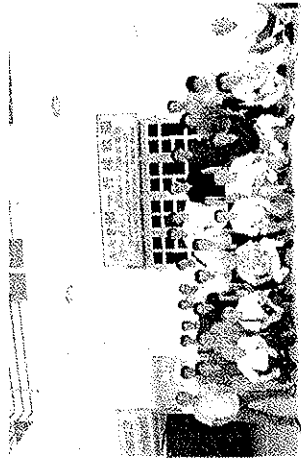
<海外視察事業>

実施日	視察先	参加人数
2011年 10月2日～6日	バングラデシュ	20
2012年 7月2日～6日 10月9日～12日	カンボジア、ベトナム ミャンマー	35 43
2013年 6月16日～23日 10月20日～26日	ミラノ、フィレンツェ インドネシア	18 23
2014年 7月21日～25日 9月14日～19日 10月19日～26日	ミャンマー カンボジア ベトナム、ラオス	14 7 20
2015年 10月19日～24日	ベトナム	35

<アジアへの進出を支援する事業>

実施日	事業内容	参加人数
2012年 7月3日	カンボジア進出懇談会 JETRO カンボジア JICA	25
2012年 10月11日	ミャンマー進出懇談会 JETRO ミャンマー	25
2013年 8月19日～25日	インドネシア視察ツアー 事前視察	10
2014年 4月23日	メルバルク東京にてアジア 進出セミナーの開催ならび に個別相談を通じてアジア 進出を支援しました	92

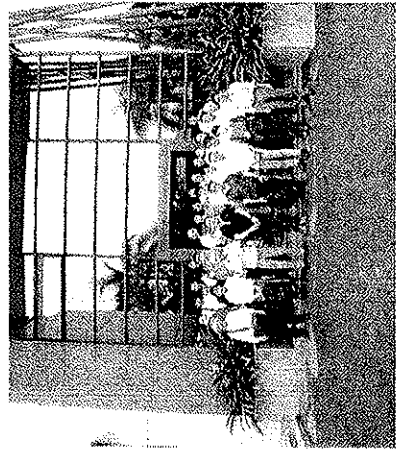
海外視察(ベトナム 平成27年10月)の様子



クイニョン工場見学集合写真



ホーチミンアセアン資材商談会



ホーチミン近郊ロンアン省KIZUNALエンタル工場にて

役員・事務局体制について

<役員>

役職名	氏名	所 属
代表理事	小島 正憲	小島衣料グループ オープナー
副代表理事	常川 雅通	㈱サンテイ代表取締役社長
理事	宮崎 守	㈱オナーダー・オブ・リット・プランニング代表取締役社長
理事	岩井 一男	㈱ロックス代表取締役社長
理事	和田 博	㈱小島衣料 顧問
監事	菱島 美家雄	㈱菱島刺繍代表取締役社長
相談役	常川 公男	サンテイグループ会長
顧問	増田 辰弘	アジアビジネス探案者
後援	三宅 太	㈱アパレル工業新聞編集長
後援	後藤 雅幸	㈱リサーチセンター代表取締役社長

<事務局>

主たる事務所 岐阜市栗野西五丁目684 ㈱小島衣料内
 電話番号 058-237-3033(代)

東京事務所 東京都中央区日本橋箱崎町17-9 升喜ビル6階
 事務局長 和田 博 AAP専用アドレス h.wada@aap-net.com

入会申し込みについて

当ネットワークにご入会希望の方は、「アジア・アパレルものづくりネットワーク」ホームページを開き、「AAPについて」→「入会申し込みについて」から必要事項を記入して送信してください。

ネット送信できない方は、申込書(PDFファイル)を印刷して、FAXにて送信ください。担当者よりあらためてご連絡いたします。

<工場・メーカー・本会員>

No.	会員会社名	本社所在地
1	秋田丸善織維(株)	秋田県大館市比内町扇田字本堂端5-1
2	(株)アットスター	岐阜県大垣市藤江町2-142-1
3	アドバンアパレル(株)	東京都渋谷区神宮前6-18-2
4	(株)アンエノイー	東京都港区赤坂1-4-3
5	(株)インターテックスチャード	東京都渋谷区渋谷2-1-12
6	(株)SDSインターナショナル	東京都新宿区信濃町10
7	(株)エルアン	佐賀県唐津市石志3295
8	(株)オーダー・オブ・リット・プランニング	東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-7
9	大橋衣料(株)	岐阜県大垣市切石町1-15
10	岡野(株)	大阪市西区西本町1-12-6
11	(株)奥田縫製	岐阜市東川手2-54
12	オールウイン(株)	岐阜県関市迫間630
13	(株)片山縫製	岐阜県養老郡養老町瑞穂943
14	(株)ケイ・エム・クロージング	熊本県球磨郡あさぎり町須恵6150
15	(株)小島衣料	岐阜市栗野西5-684
16-1	(株)サンテイ	岐阜県関市山王通1-5-8
16-2	(株)サンティクス	岐阜県関市小瀬954
17	(株)昭和インターナショナル	東京都昭島市松原町3-4-29
18	(株)ズーム	岐阜市西野町6丁目北町9-2
19	誠二(香港)有限公司	香港
20	PT.SEIKOU.SEAT.COVER	インドネシア
21	高間(株)	愛知県一宮市浅井町小日比野字大萩954-24
22	(株)TMGロンド	岐阜県関市千疋385-1
23	名古屋商事(株)	名古屋市天白区保呂町1517
24	難波産業(株)	岡山県倉敷市児島上の町1-11-38
25	(株)アッシュンククロスアールシマ	埼玉県羽生市下羽生1073-1
26	(株)アッシュンクユニシ	名古屋市天白区保呂町1517
27	(株)グリセツト五島	岐阜県各務原市各務山の町1-110-1
28	(株)ブルック	神戸市中央区北長狭通3-11-2-802
29	(株)丸正	東京都足立区千住仲町23-1
30	(株)ミツワ	岐阜県関市千疋805
31	蓑島グループ (株)蓑島刺繍	岐阜県瑞穂市野白新田320-3
32-1	YASUDA (VIETNAM) CO.LTD	ベトナム
32-2	(株)安田縫製	福島県須賀川市小作田字愛宕下55
33	湯峰ソーイング(株)	東京都江東区東陽4-3-3-202
34	(株)レナンミンツアキ	岐阜県山県市岩佐1363-1
35	(株)ロックス	岐阜市田神6-8

<協力会員>

No.	会員会社名	本社所在地
1	アズマ(株)	東京都台東区小島2-1-1
2	(株)F.V.G	東京都千代田区神田小川町3-6-1
3	エリゼ(株)	大阪市中央区島ノ内1-14-29
4	(株)大森廻漕店	名古屋市港区入船町2-2-28
5	清川(株) 岐阜支店	岐阜市東鶴2-35
6	島田商事(株)	大阪府中央区谷町3-1-12
7	鈴川織布(株)	愛知県半田市亀崎町6-78
8	東海サーモ(株)	岐阜県大垣市大井4-53
9	(株)HYMO	岐阜県大垣市大村2-20
10	ファイナル商事(株)	滋賀県東近江市今町447-1
11	室谷(株)	大阪市中央区内淡路町1-4-1
12	吉岡(株)	岐阜市茜部菱野1-60

<特別協賛会員>

No.	会員会社名	本社所在地
1	JUKI販売(株)	東京都多摩市鶴牧2-11-1
2	(株)サンクローバー	岐阜市茜部中島1-141
3	(株)ガロ	岐阜市加納黒木町1-51
4	(株)カイトックインターナショナル	東京都目黒区東山1-8-14
5	(株)セントラルインジュアランス	名古屋市中村区名駅3-15-1
6	一般社団法人 ボーケン品質評価機構	東京都江東区毛利1-12-1
7	AGMS(株)	東京都港区三田1-4-28
8	(株)サンヴェル	大阪府中央区平野町2-1-10
9	(株)アジックス	京都市北区平野宮本町5
10	トムス(株)	東京都渋谷区東3-16-3
11	(株)武蔵富装	東京都千代田区神田鍛冶町3-3-5
12	丸久(株)	徳島県鳴門市撫養町斎田字浜端北72